

12 安全保障委員会

【第208回国会】

(1) 委員名簿 (30人)

委員長	大塚 拓君	自民						
理事	門山 宏哲君	自民	理事	武田 良太君	自民			
理事	星野 剛士君	自民	理事	宮澤 博行君	自民			
理事	篠原 豪君	立民	理事	徳永 久志君	立民			
理事	美延 映夫君	維新	理事	吉田 宣弘君	公明			
	青山 周平君	自民		江渡 聡徳君	自民			
	熊田 裕通君	自民		國場 幸之助君	自民			
	齋藤 健君	自民		塩谷 立君	自民			
	鈴木 憲和君	自民		中曾根 康隆君	自民			
	長島 昭久君	自民		浜田 靖一君	自民			
	細野 豪志君	自民		松島 みどり君	自民			
	新垣 邦男君	立民		伊藤 俊輔君	立民			
	玄葉 光一郎君	立民		太 栄志君	立民			
	岩谷 良平君	維新		掘井 健智君	維新			
	佐藤 茂樹君	公明		齋藤アレックス君	国民			
	赤嶺 政賢君	共産						

(2) 議案審査

付託された議案は内閣提出法律案2件及び議員提出法律案2件（継続審査）で、審査の概況は次のとおりである。

防衛省の職員の給与等に関する法律の一部を改正する法律案（内閣提出第16号）

- 要旨
一般職の国家公務員の例に準じて防衛省職員の期末手当を改定するもの
- 審査結果
可決
- 審査経過

提出日	衆・本会議 趣旨説明	衆・委員会		衆・本会議 議決日 結果	参・委員会 議決日 結果	参・本会議 議決日 結果	公布日 番号	
		付託日 趣旨説明	質疑					
令和 4. 2. 1		3. 23	3. 25	3. 25 可決(多) (賛-自民・立民・公明・ 国民) (反-維新・共産)	3. 29 可決	外交防衛 4. 5 可決	4. 6 可決	4. 13 法23号
		3. 24						

防衛省設置法等の一部を改正する法律案（内閣提出第26号）

- 要旨
自衛隊の任務の円滑な遂行を図るため、自衛官の定数の変更、外国における緊急事態に際して防衛大臣が行う在外邦人等の輸送の要件等の見直し、麻薬等の譲渡に係る特例規定の整備及び保険医療機関等から診療を受けようとする自衛官等に係る電子資格確認の導入等の措置を講ずるもの

- 審査結果
可決（附帯決議が付された。）

- 審査経過

提出日	衆・本会議 趣旨説明	衆・委員会			衆・本会議 議決日 結果	参・委員会 議決日 結果	参・本会議 議決日 結果	公布日 番 号
		付託日 趣旨説明	質疑	議決日 結 果				
令和 4. 2. 8	3. 8	3. 8	3.15	3.15 可決(多) (賛-自民・立民・維新・ 公明・国民) (反-共産) (附)	3.17 可決	外交防衛 4.12 可決	4.13 可決	4.20 法26号
		3.10						

自衛隊法及び海上保安庁法の一部を改正する法律案（前原誠司君外1名提出、第207回国会衆法第9号）

- 要旨

領海等における公共の秩序の維持を図るため、自衛隊の部隊による警戒監視の措置及びその際の権限について定めるとともに、海上保安庁の任務として領海の警備が含まれることを明記する等の措置を講ずるもの

- 審査結果

継続審査

- 審査経過

提出日	衆・本会議 趣旨説明	衆・委員会			衆・本会議 議決日 結果	参・委員会 議決日 結果	参・本会議 議決日 結果	公布日 番 号
		付託日 趣旨説明	質疑	議決日 結 果				
(令和 3.12.16)		4. 1.17			6.15 閉会中審査			

領域等の警備及び海上保安体制の強化に関する法律案（篠原豪君外14名提出、第207回国会衆法第11号）

- 要旨

領域等における公共の秩序を維持し、もって国民の安全の確保に資するため、領域等の警備に関する基本原則を定め、並びに領域警備基本方針及び海上保安体制強化計画の策定その他の領域等の警備に関する施策の基本となる事項を定めるとともに、領域警備・海上保安体制強化会議を設置するもの

- 審査結果

継続審査

- 審査経過

提出日	衆・本会議 趣旨説明	衆・委員会			衆・本会議 議決日 結果	参・委員会 議決日 結果	参・本会議 議決日 結果	公布日 番 号
		付託日 趣旨説明	質疑	議決日 結 果				
(令和 3.12.17)		4. 1.17			6.15 閉会中審査			

(3) 国政調査

国政調査では、質疑及び委員派遣が行われた。主な質疑内容は、次のとおりである。

○ 主な質疑内容

- ・ ロシアのウクライナ侵略から我が国が得る教訓及び備えについての防衛大臣及び外務大臣の見解
- ・ 国家安全保障戦略の改定に当たっての中国の位置付け及び我が国に対する脅威を明確化する必要性についての防衛大臣の所見
- ・ 尖閣諸島における領空・領海侵犯への対処を検討することについての防衛大臣の見解
- ・ 仮に我が国が敵基地攻撃能力（反撃能力）を保有すれば、「盾と矛」と言われる日米の役割分担を変更することになるとの指摘についての防衛大臣の認識
- ・ 相手領域内の基地やミサイル発射施設等を衛星情報等から正確に特定する能力及び技術力の自衛隊の保有状況
- ・ 日米同盟が我が国及び極東の防衛にとって重要であるとの認識の下での日米地位協定及びその改定の必要性についての外務大臣の見解
- ・ 政府が核共有に反対する理由は非核三原則に反するためであるとの考えの当否
- ・ 我が国の環境法令を在日米軍にも適用し、環境汚染に関する調査を義務付けるべきとの考えに対する外務大臣の見解
- ・ 優秀なサイバーセキュリティ人材を継続的に確保するための処遇やキャリアパスに関する現在の課題と取組
- ・ 中途退職者が増加し入隊志願者が減少する現状とそれを作り出している自衛隊の労働環境及び組織文化に対する防衛省の見解

(4) 委員派遣

派遣日	派遣地名	派遣目的	派遣委員
(閉会中) 令和 4. 7. 21 ～ 7. 22	北海道	国の安全保障における防衛等の実情調査	8人



陸上自衛隊帯広駐屯地（北海道帯広市）

【第209回国会】

(1) 委員名簿 (30人)

委員長	大塚	拓君	自民						
理事	門山	宏哲君	自民	理事	武田	良太君	自民		
理事	星野	剛士君	自民	理事	宮澤	博行君	自民		
理事	篠原	豪君	立民	理事	徳永	久志君	立民		
理事	美延	映夫君	維新	理事	吉田	宣弘君	公明		
	青山	周平君	自民		江渡	聡徳君	自民		
	熊田	裕通君	自民		國場	幸之助君	自民		
	齋藤	健君	自民		塩谷	立君	自民		
	鈴木	憲和君	自民		中曾根	康隆君	自民		
	長島	昭久君	自民		浜田	靖一君	自民		
	細野	豪志君	自民		松島	みどり君	自民		
	新垣	邦男君	立民		伊藤	俊輔君	立民		
	玄葉	光一郎君	立民		太	栄志君	立民		
	岩谷	良平君	維新		掘井	健智君	維新		
	佐藤	茂樹君	公明		斎藤	アレックス君	国民		
	赤嶺	政賢君	共産						

(2) 議案審査

付託された議案は議員提出法律案2件（継続審査）で、審査の概況は次のとおりである。

自衛隊法及び海上保安庁法の一部を改正する法律案（前原誠司君外1名提出、第207回国会衆法第9号）

○ 要旨

（第208回国会参照）

○ 審査結果

継続審査

○ 審査経過

提出日	衆・本会議 趣旨説明	衆・委員会			衆・本会議 議決日 結果	参・委員会 議決日 結果	参・本会議 議決日 結果	公布日 番号
		付託日 趣旨説明	質疑	議決日 結果				
(令和 3.12.16)		4. 8. 3			8. 5 閉会中審査			

領域等の警備及び海上保安体制の強化に関する法律案（篠原豪君外14名提出、第207回国会衆法第11号）

○ 要旨

（第208回国会参照）

○ 審査結果

継続審査

○ 審査経過

提出日	衆・本会議 趣旨説明	衆・委員会			衆・本会議 議決日 結果	参・委員会 議決日 結果	参・本会議 議決日 結果	公布日 番号
		付託日 趣旨説明	質疑	議決日 結果				
(令和 3.12.17)		4. 8. 3			8. 5 閉会中審査			

【第210回国会】

(1) 委員名簿 (30人)

委員長	鬼木 誠君	自民	理事	國場 幸之助君	自民
理事	大塚 拓君	自民	理事	若宮 健嗣君	自民
理事	宮澤 博行君	自民	理事	篠原 豪君	立憲
理事	伊藤 俊輔君	立憲	理事	濱地 雅一君	公明
理事	三木 圭恵君	維新	理事	大岡 敏孝君	自民
	江渡 聡徳君	自民		小泉 進次郎君	自民
	木村 次郎君	自民		武田 良太君	自民
	鈴木 憲和君	自民		中曾根 康隆君	自民
	渡海 紀三朗君	自民		細野 豪志君	自民
	長島 昭久君	自民		山本ともひろ君	自民
	松島 みどり君	自民		玄葉 光一郎君	立憲
	新垣 邦男君	立憲		渡辺 周君	立憲
	重徳 和彦君	立憲		美延 映夫君	維新
	浅川 義治君	維新		斎藤アレックス君	国民
	河西 宏一君	公明			
	赤嶺 政賢君	共産			

(2) 議案審査

付託された議案は内閣提出法律案1件及び議員提出法律案4件（うち継続審査2件）で、審査の概況は次のとおりである。

防衛省の職員の給与等に関する法律の一部を改正する法律案（内閣提出第8号）

○ 要旨

一般職の国家公務員の例に準じて防衛省職員の俸給月額等を改定するもの

○ 審査結果

可決（附帯決議が付された。）

○ 審査経過

提出日	衆・本会議 趣旨説明	衆・委員会			衆・本会議 議決日 結果	参・委員会 議決日 結果	参・本会議 議決日 結果	公布日 番号
		付託日 趣旨説明	質疑	議決日 結果				
令和 4.10.7		10.26	10.28	10.28 可決(全) (賛-自民・立憲・維新・ 公明・国民・共産) (附)	11.1 可決	外交防衛 11.10 可決	11.11 可決	11.18 法88号
		10.27						

自衛隊法及び海上保安庁法の一部を改正する法律案（前原誠司君外1名提出、第207回国会衆法第9号）

○ 要旨

（第208回国会参照）

○ 審査結果

継続審査

○ 審査経過

提出日	衆・本会議 趣旨説明	衆・委員会			衆・本会議 議決日 結果	参・委員会 議決日 結果	参・本会議 議決日 結果	公布日 番号
		付託日 趣旨説明	質疑	議決日 結果				
(令和 3.12.16)		4.10.3			12.10 閉会中審査			

領域等の警備及び海上保安体制の強化に関する法律案（篠原豪君外14名提出、第207回国会衆法第11号）

○ 要旨

（第208回国会参照）

○ 審査結果

継続審査

○ 審査経過

提出日	衆・本会議 趣旨説明	衆・委員会			衆・本会議 議決日 結果	参・委員会 議決日 結果	参・本会議 議決日 結果	公布日 番号
		付託日 趣旨説明	質疑	議決日 結果				
(令和 3.12.17)		4.10.3			12.10 閉会中審査			

防衛省の職員の給与等に関する法律の一部を改正する法律案（三木圭恵君外2名提出、衆法第7号）

○ 要旨

防衛出動基本手当及び防衛出動特別勤務手当の額を定める政令に係る根拠規定を改正するとともに、政府は、この法律の施行後6月以内に、防衛出動に係る事態の想定に基づき、当該政令を制定するものとするもの

○ 審査結果

継続審査

○ 審査経過

提出日	衆・本会議 趣旨説明	衆・委員会			衆・本会議 議決日 結果	参・委員会 議決日 結果	参・本会議 議決日 結果	公布日 番号
		付託日 趣旨説明	質疑	議決日 結果				
令和 4.10.26		12.9			12.10 閉会中審査			

防衛省の職員の給与等に関する法律の一部を改正する法律案（三木圭恵君外2名提出、衆法第8号）

○ 要旨

国際情勢の複雑化に伴い自衛隊の任務が多様化する中で、自衛隊がその任務を適切に遂行するためには、自衛官が意欲と誇りを持って職務に従事することが重要であることに鑑み、自衛官の給与体系その他の給与の在り方についての検討について定めるもの

○ 審査結果

継続審査

○ 審査経過

提出日	衆・本会議 趣旨説明	衆・委員会			衆・本会議 議決日 結果	参・委員会 議決日 結果	参・本会議 議決日 結果	公布日 番号
		付託日 趣旨説明	質疑	議決日 結果				
(令和 4.10.26)		12. 9			12.10 閉会中審査			

(3) 国政調査

国政調査では、質疑及び委員派遣が行われた。主な質疑内容は、次のとおりである。

○ 主な質疑内容

- ・ 限られた防衛予算の中での維持費、訓練・整備費、弾薬の確保及びインフラ整備を始めとする自衛力の活動の基盤の改善強化についての現状及び取組方針
- ・ 内閣総理大臣が指示した令和5年度から5年間の防衛費43兆円が公共インフラ等の関連経費を含まないいわゆる「真水」の防衛予算であるとの認識の当否
- ・ 専守防衛の範囲内での反撃能力の保有及び行使の限度並びに反撃能力を保有した場合の日米の役割分担についての国民等に対する説明内容
- ・ 能動的サイバー防御を実施するための法律・体制の整備の現状及び整備の目途並びに整備対象となる法律
- ・ 武力攻撃事態を想定した海上保安庁と海上自衛隊による共同訓練の実施及び同共同訓練に当たり自衛隊法第80条と海上保安庁法第25条の関係を整理することについての防衛大臣の見解
- ・ 台湾有事における我が国の台湾支援の在り方及び我が国による台湾への装備品供与の可否
- ・ 日韓間のスポーツ・文化交流を通じた国内世論の醸成の促進を足掛かりに、有事への対処を念頭に置いた日韓及び日米韓の連携を深化させていく必要性に対する外務大臣の所見
- ・ ウクライナに対する我が国のこれまでの支援内容と今後の支援の在り方についての外務大臣及び防衛大臣の見解
- ・ 米海兵隊がミサイル部隊等を一時的に展開するEABO（機動展開前進基地作戦構想）において南西諸島に部隊を展開させる際に民間の空港及び港湾を使用する可能性
- ・ 参議院選挙や沖縄県知事選挙において示された辺野古移設反対という民意の尊重の在り方についての防衛大臣及び外務大臣の見解

(安全保障委員会 外務委員会 北朝鮮による拉致問題等に関する特別委員会 連合審査会)

- ・ 対話意思のない北朝鮮を抑制させるための国連等との協力も含めた我が国の外交努力についての外務大臣の見解
- ・ 北朝鮮向け短波放送「しおかぜ」の重要性及び老朽化した放送施設に対する政府の支援についての内閣府の見解
- ・ 原子力発電所が狙われるリスクが高まっていることを踏まえ、現在のPAC-3部隊の配置を再検討する必要性についての防衛大臣の見解

(4) 連合審査会

連合審査会	開会日	審査・調査案件
安全保障委員会 外務委員会 北朝鮮による拉致問題等に関する特別委員会	令和 4.10.13	国の安全保障に関する件（北朝鮮による弾道ミサイル発射等に関する件）

(5) 委員派遣

派遣日	派遣地名	派遣目的	派遣委員
(閉会中) 令和 4.12.20 ～12.21	青森県	国の安全保障における防衛等の実情調査	8人



海上自衛隊八戸航空基地（青森県八戸市）